

教科	数学	科目	数学B	学年	2	単位数	3
類型	共通 ・ 文系 ・ 理系			履修規程	必修 ・ 選択		
学習の到達目標				使用する主な教材			
数列とベクトルについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。				<ul style="list-style-type: none"> ・新編数学B【啓林館】 ・エディノート数学Ⅱ・B【啓林館】 ・フォーカスアップ数学Ⅱ・B【啓林館】 			
期	月	配当時間	学習内容	学習の具体的内容とねらい			
第一 学期	4	12	第1章 数列 第1節 等差数列・等比数列 1. 数列とその項 2. 等差数列 3. 等比数列	<ul style="list-style-type: none"> ・数列の意味とその表し方を理解させ、ある規則に従って並んでいる数列からその規則を推測できるようにする。 ・数列についての基本的な用語の意味や一般項の概念を習得させる。 ・等差数列、等比数列の定義を理解させ、一般項、和を求めることができるようにする。 			
			5	1	中間考査		
	6	15	第2節 いろいろな数列 1. 和の記号 Σ 2. 数列の和と一般項	<ul style="list-style-type: none"> ・和の記号Σの意味を理解させ、その性質やΣの公式について学び、いろいろな数列の和が計算できるようにする。 ・階差数列の意味を理解させ、いろいろな数列の一般項が階差数列によって求められるようにする。 			
			7	7	期末考査		
	第二 学期	8	3	2. 数学的帰納法	<ul style="list-style-type: none"> ・数学的帰納法の意味を理解させ、数学的帰納法による証明ができるようにする。 		
9		12	第2章 平面上のベクトル 第1節 ベクトルとその演算 1. ベクトル 2. ベクトルの和・差・実数倍 3. ベクトルの成分	<ul style="list-style-type: none"> ・ベクトルの定義・意味を理解させ、その演算および、計算法則を理解させる。 ・ベクトルの和、差等が図示できるようにする。 ・ベクトルの成分表示について理解させ、成分による計算ができるようにする。 			
			10	1			
11		15	4. ベクトルの内積 第2節 ベクトルと図形 1. 位置ベクトル 2. 位置ベクトルと図形	<ul style="list-style-type: none"> ・ベクトルの内積を導入し、基本的な性質について理解させ、平面図形の性質などの考察に活用できるようにする。 ・位置ベクトルの意味を理解させる。 			
			1	期末考査			
12	8	3. ベクトル方程式	<ul style="list-style-type: none"> ・ベクトル方程式の意味を理解させ、直線や円をベクトルをもとにして考えることができるようにする。 				

教科	数学	科目	数学B	学年	2	単位数	3
類型	共通 ・ 文系 ・ 理系			履修規程	必修 ・ 選択		
学習の到達目標				使用する主な教材			
数列とベクトルについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。				・新編数学B【啓林館】 ・エディノート数学Ⅱ・B【啓林館】 ・フォーカスアップ数学Ⅱ・B【啓林館】			
期	月	配当時間	学習内容	学習の具体的内容とねらい			
第 三 学 期	1	12	第3章 空間座標とベクトル 第1節 空間ベクトル 1. 空間の点の座標 2. 空間のベクトル	・空間におけるベクトルの意味を理解させ、座標及びベクトルの考えが平面から空間に拡張できることを考えさせる。			
	2	9	3. 空間のベクトルの内積	・平面上のベクトルの演算が、空間においても成り立つことを理解させる。			
	3	1 4	4. 空間の位置ベクトル	学年末考査 ・空間の位置ベクトルを導入し、空間図形の応用問題が解けるようにする。			
評価の方法		①中間考査, 期末考査, 学年末考査の成績 ②問題集や課題などの提出物の内容 ③授業や学習活動の参加の仕方や態度など					